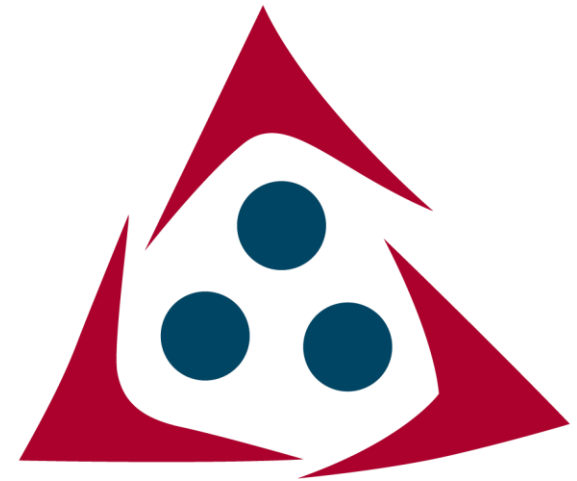


2022年12月期 第1四半期  
決算説明資料

---

2022年5月13日 株式会社ラキール  
(東証グロース：4074)



LaKeel

1. 第1四半期決算ハイライト
2. 業績推移と連結決算の概況
3. 当社事業の特色と成長戦略
4. Appendix

# 1. 第1四半期決算ハイライト

# 第1四半期決算ハイライト

## 第1四半期は対前年で増収増益となり概ね計画通り進捗

### 連結業績

前年同期比

**増収／増益**

### プロダクトサービス売上

前年同期比

**67.4%増**  
(3.85億円増)

### プロフェッショナルサービス売上

前年同期比

**3.5%減**  
(0.24億円減)

### 営業利益

前年同期比

**92.3%増**  
(0.57億円増)

### 経常利益

前年同期比

**136.5%増**  
(0.63億円増)

### 純利益

前年同期比

**272.6%増**  
(0.49億円増)

# 第1四半期決算ハイライト（プロダクト）

## LaKeel製品のサブスクリプション収入は着実に伸長

### プロダクトサービス売上比率

前年同期比

44.9% ⇒ 58.5%

### サブスク※1ユーザー数

前年同期末比

22.3%増  
(48ユーザー増)  
215user ⇒ 263user

### サブスク※1売上

前年同期比

48.7%増  
(62百万円増)  
129百万円 ⇒ 191百万円



### MRR(月間経常収益)※2

前年同期比

48.7%増  
(20.9百万円増)  
43.0百万円 ⇒ 63.9百万円

### ARPU(ユーザー平均単価)※2

前年同期比

21.5%増  
(4万3千円増)  
20万0千円 ⇒ 24万3千円

※1 LaKeel製品を対象としたサブスクになります。

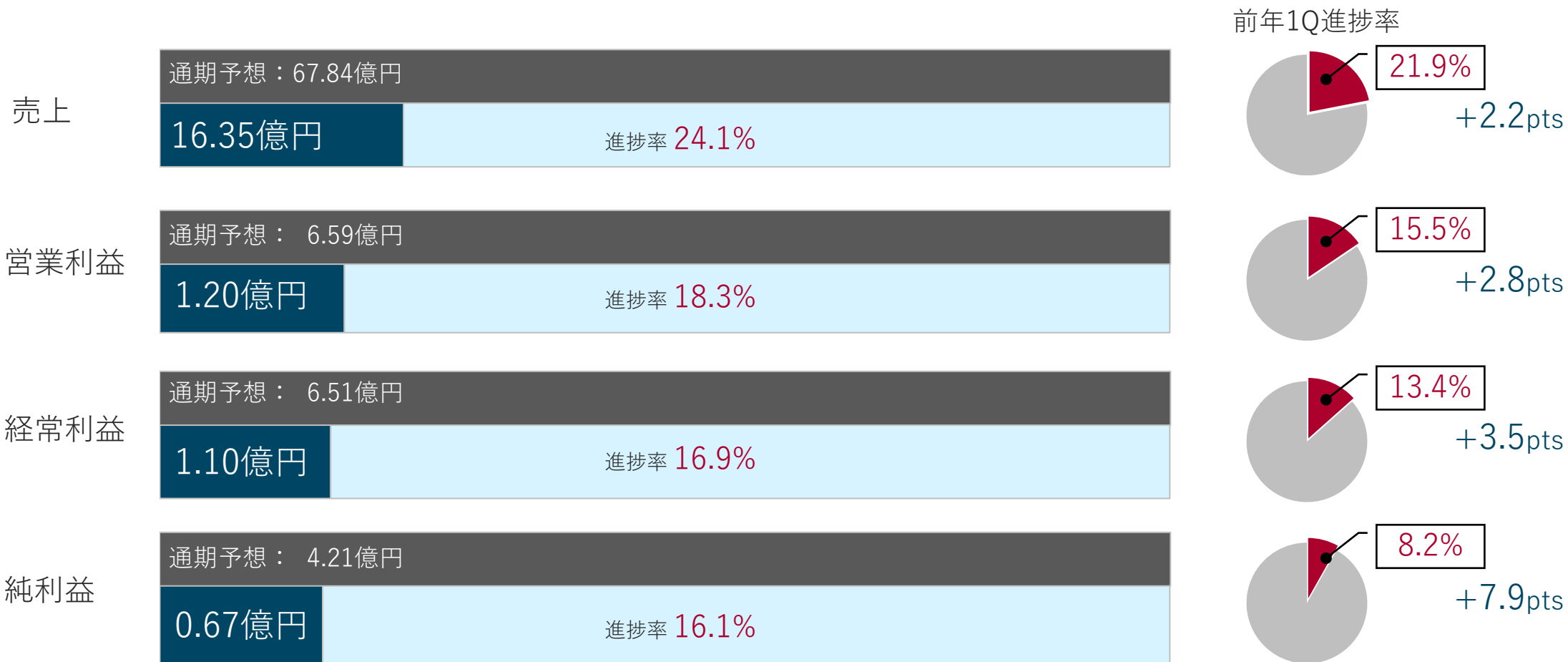
※2 MRR(月間経常収益)は四半期のサブスク売上を3で割って算出、ARPU(ユーザー平均単価)はMRRを各四半期末のユーザー数で除して算出しています。

## 2. 業績推移と連結決算の概況

# 業績予想の達成状況

## 概ね計画通り進捗

当社業績は1Qから4Qに向けて増加する傾向にあり対前年で進捗率は改善している



# 第1四半期の決算概要 (P/L)

## 前年同期比で増収増益

(単位：百万円)	FY2021 1Q	FY2022 1Q	増減率
売上	1,274	<b>1,635</b>	28.3%
売上総利益	385 (30.3%)	<b>508</b> (31.1%)	31.8%
販管費	323 (25.4%)	<b>388</b> (23.7%)	20.1%
営業利益	62 (4.9%)	<b>120</b> (7.4%)	92.3%
EBITDA	115 (9.1%)	<b>199</b> (12.2%)	72.1%
経常利益	46 (3.7%)	<b>110</b> (6.7%)	136.5%
純利益	18 (1.4%)	<b>67</b> (4.2%)	272.6%

### プロダクトサービスが順調に伸長

- 依然、DXニーズは継続しておりプロダクトサービスを中心に売上が伸長
- コロナの影響は軽微

### 人材採用と認知度向上に注力

- 採用コストと広告宣伝コストの増加等により販管費は増加

### 会計基準変更の影響について

- 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020/3/31)等を当1Qの期首から適用

※ 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を記載しております。



# サービス別売上内訳

## プロダクトサービスが好調に推移

(単位：百万円)		FY2021 1Q	FY2022 1Q	増減率
連結合計		1,274	<b>1,635</b>	28.3%
プロダクトサービス		571	<b>957</b>	67.4%
製品サービス	ライセンス	37	<b>63</b>	69.1%
	サブスクリプション (LaKeel製品)	129	<b>191</b>	48.7%
	サブスクリプション (LaKeel製品以外)	45	<b>34</b>	△25.2%
	その他	21	<b>15</b>	△27.1%
コンサルティングサービス		337	<b>652</b>	93.0%
プロフェッショナルサービス		702	<b>678</b>	△3.5%
フロービジネスレベニュー		21	<b>21</b>	1.4%
リカーリングレベニュー		681	<b>656</b>	△3.7%

コンサルティングサービスが大きく成長

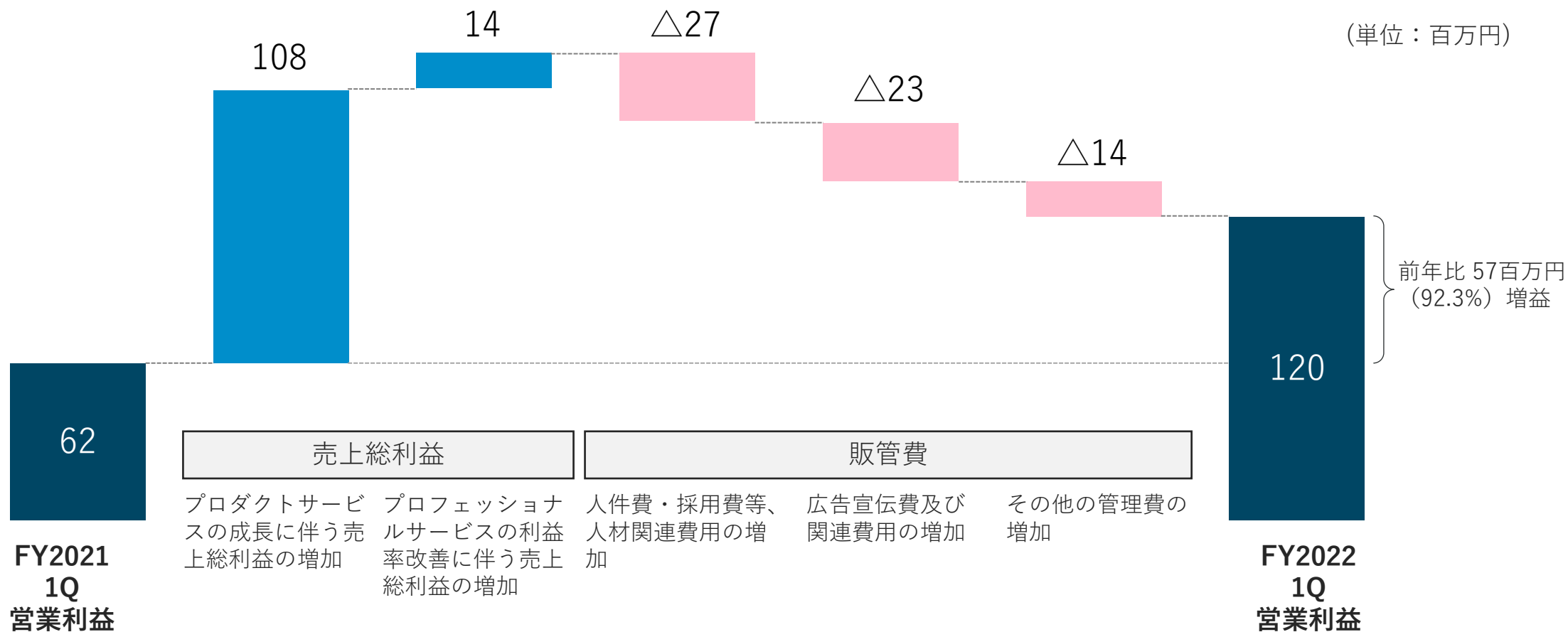
- ライセンスは、対前年で約1.7倍の売上
- サブスク売上が積み上がり、対前年で約1.5倍
- DXコンサルティングが継続して拡大
- LaKeel製品以外の売上はEOL等により減少傾向は継続

プロフェッショナルサービスはリカーリングビジネスに集中

- 新規システム開発(フロー)案件の受注は抑制し、既存顧客を中心とした保守案件に集中
- 一部顧客のシステム投資予算縮小により保守案件が減少するも、リカーリングレベニューとして月間売上2億円強を維持

# 営業利益増減分析

## プロダクトサービスの成長とプロフェッショナルサービスの利益率改善により増益



# サービス別売上比率推移

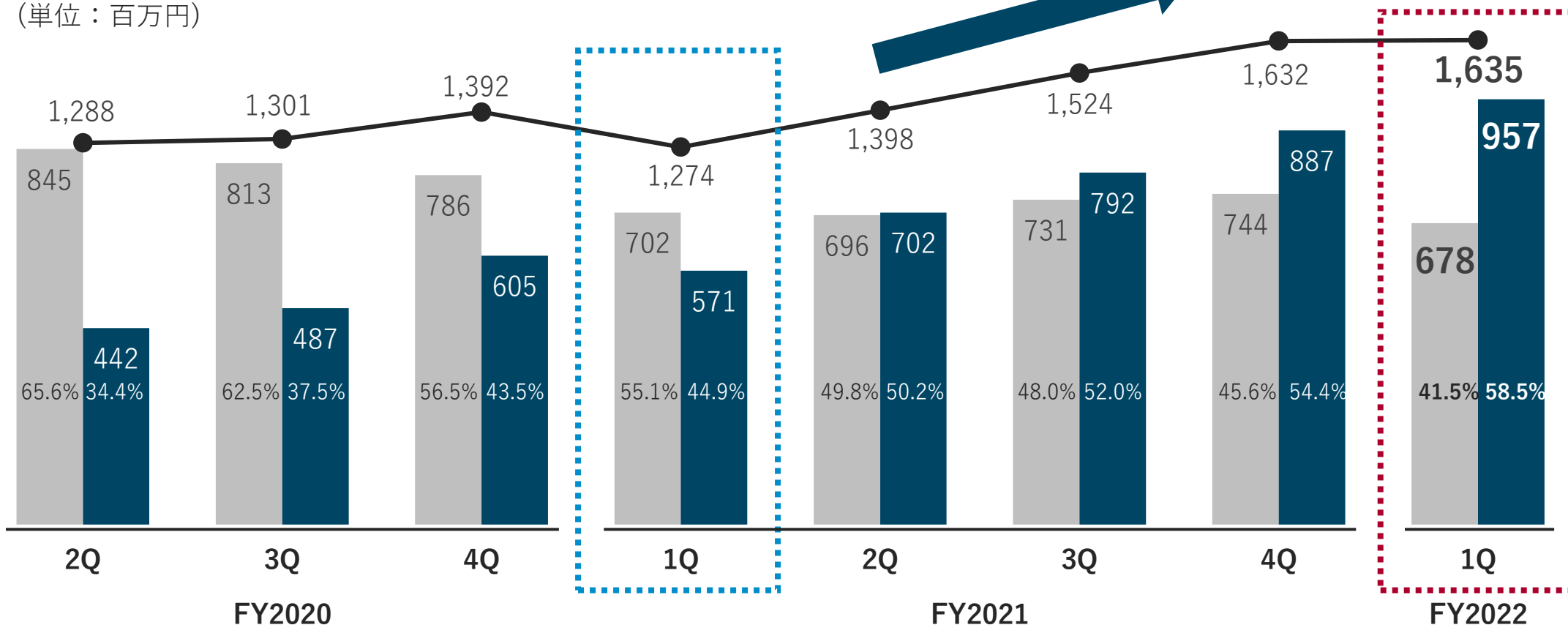
## 収益構造の変革は順調に進む

- プロダクトサービス売上
- プロフェッショナルサービス売上

(単位：百万円)

● 総売上

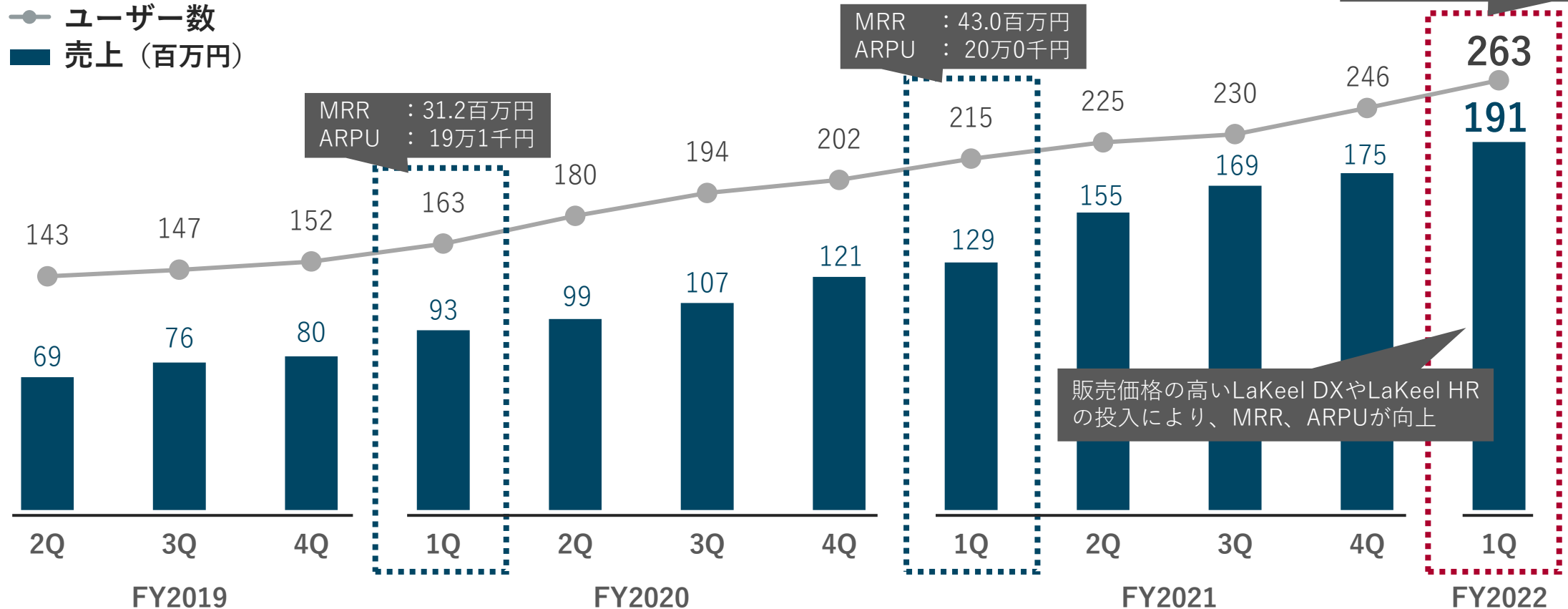
収益構造改革の結果、営業利益率は FY2021 2Q から改善



# LaKeel製品※1サブスクリプション売上※2・ユーザー数の推移

## サブスクリプションビジネスは順調に推移

MRR : 63.9百万円  
ARPU : 24万3千円



※1 LaKeel製品には、DX、BI、HR、Commerce、Online Media Service、Data Insight、Messenger、My Number、Stress Check、Process Managerが含まれます。

※2 売上は四半期の合計、ユーザー数は各四期末時点での数値です。

※3 MRR(月間経常収益)は各四半期売上を3で割って算出、ARPU(ユーザー平均単価)はMRRを各四半期末のユーザー数で除して算出しています。

※4 FY2022サブスクリプションの売上には、同期会計基準の変更によって計上されているものを含まず。

# 第1四半期の決算概要 (B/S)

(単位：百万円)	FY2021 1Q末	FY2021 期末	FY2022 1Q末	増減率 (対前年期末)
流動資産	2,095	3,876	<b>3,817</b>	△1.5%
現預金	1,180	2,570	<b>2,579</b>	0.3%
固定資産	1,524	1,565	<b>1,538</b>	△1.7%
のれん	496	470	<b>461</b>	△1.8%
総資産	3,620	5,442	<b>5,356</b>	△1.6%
流動負債	1,609	1,948	<b>1,818</b>	△6.7%
固定負債	849	676	<b>662</b>	△2.1%
純資産	1,160	2,817	<b>2,875</b>	2.1%
自己資本	1,142	2,798	<b>2,856</b>	2.1%
(自己資本比率)	31.5%	51.4%	<b>53.3%</b>	1.9P
非支配株主持分	18	18	<b>18</b>	0.8%

## 財務体質

- 現預金は前年期末比で14億円増加して25億円
- 有利子負債は短期約8億円、長期約6億円
- 自己資本比率は53.3%

## のれんの計上、償却について

- 2017年11月のMBOと2018年12月の子会社取得に伴い当初約6億円を計上、1Q末時点の残価は4.61億円
- 効果の及ぶ期間(12年～20年)を見積り償却中、将来の収益力を適切に反映

## 会計基準変更の影響について

- 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020/3/31)等を当1Qの期首から適用

### 3. 当社事業の特色と成長戦略

# ビジョンと事業内容

## デジタルネイティブカンパニー ～明日の日常を創り出す～



デジタルとビジネスのより良い関係を創り出す

企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を支援する  
2つのサービス

### プロダクトサービス

### DX関連サービス

#### ■ LaKeel DX/Apps

- ・ LaKeel DX： クラウドアプリケーションの開発・運用基盤
- ・ LaKeel Apps： LaKeel DX上で稼働する製品群

#### ■ コンサルティングサービス

- ・ LaKeel DXと機能部品群を最大限に活用する**コンサルティング**
- ・ LaKeel DX上に収集された膨大なデータの**分析サービス**

### プロフェッショナルサービス

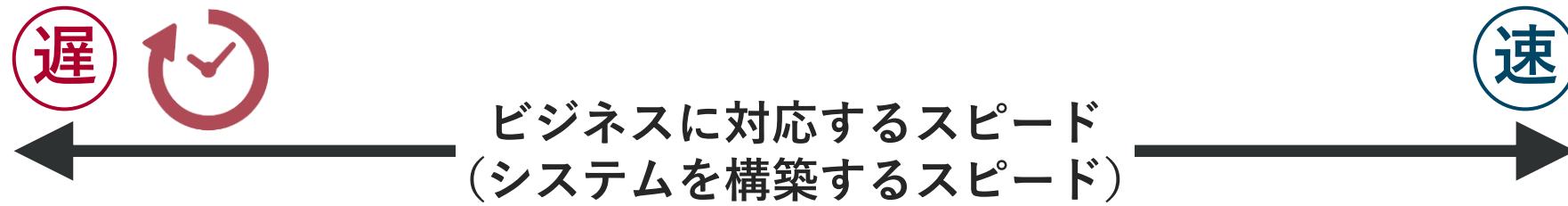
### システム関連サービス

#### ■ システム開発サービス

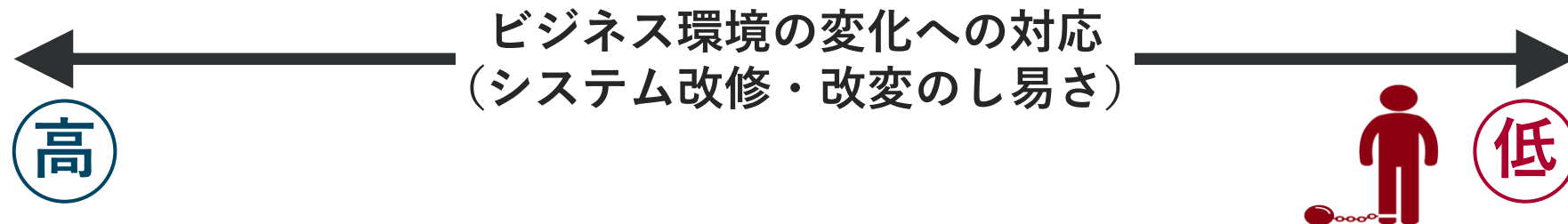
- ・ レガシーマイグレーション、クラウドマイグレーション
- ・ スクラッチ開発

#### ■ システム保守サービス

# ビジネス（DX）に求められる『スピード』と『柔軟性』



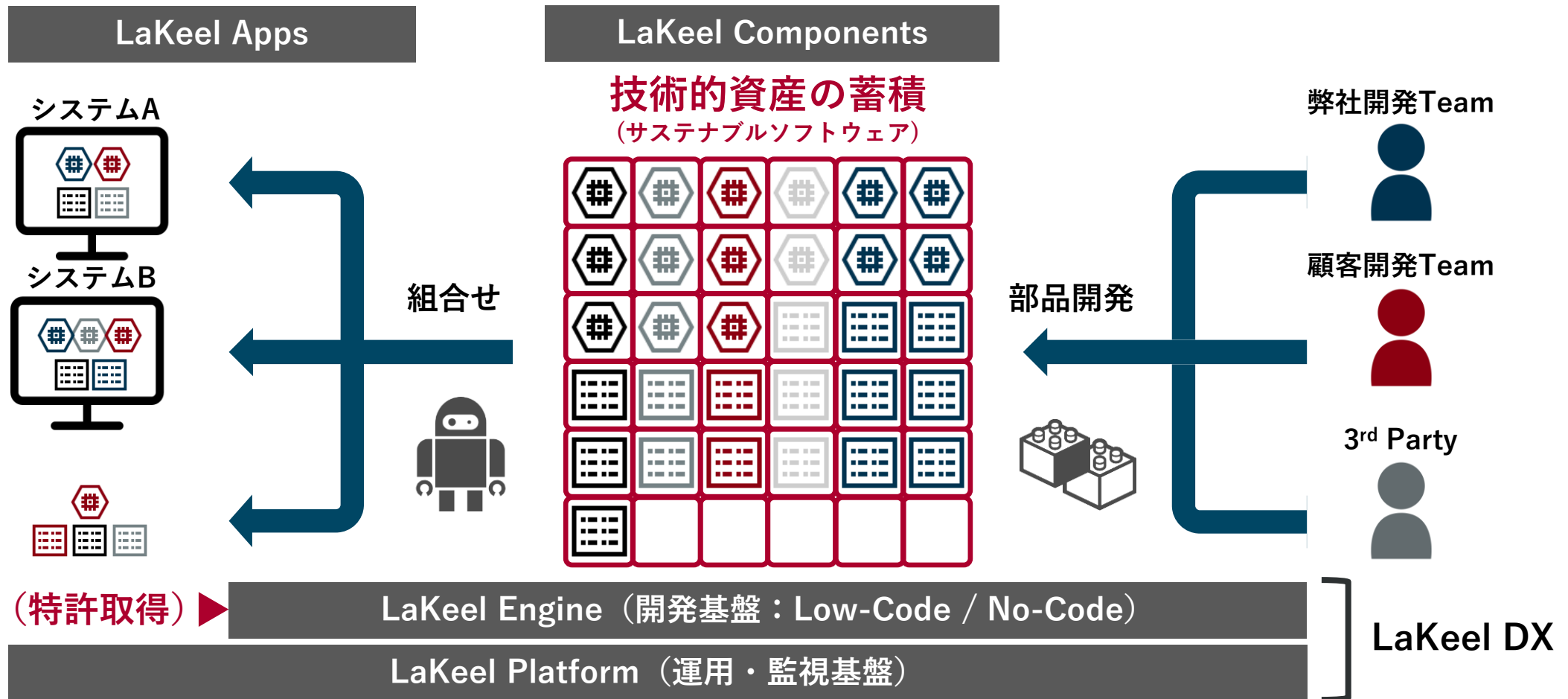
## 『スピード』と『柔軟性』





# サステナブルソフトウェアの提供

## LaKeel DX = 全てを部品化し再利用する仕組み



# LaKeel Apps (製品群)

## LaKeel BI

### BI (Business Intelligence) ツール

経営・会計・人事などの多くのデータを集約・加工し、これを判り易く可視化し、経営戦略のための意思決定を行う製品。



## LaKeel Commerce

### eコマースツール

新しい決済手段が登場した場合も即座に部品を開発し、既存システムと組み合わせることが可能。



## LaKeel Online Media Service

### マイクロ・ラーニングプラットフォーム

提供するコンテンツの分野は、労働・安全・食品・ハラスメント等。また、多言語（英語・中国語(簡体字)・ベトナム語・ネパール語・ミャンマー語・ポルトガル語(ブラジル)）にも対応。



## LaKeel Passport

### ID管理・認証/認可統合管理プラットフォーム

外部システムとの連携、既存システムとのシングルサインオン、多要素・多段階認証機能を提供し、ユーザーIDの一元管理・セキュリティレベルの強化と統一を実現。



## LaKeel Data Insight

### データ分析・統合管理プラットフォーム

クラウド技術を利用し超大規模のビッグデータアナリティクスに対応する他、マイクロサービス技術により可視化や分析の先にある行動に繋げる事が可能。



## LaKeel My Number

### マイナンバー管理プラットフォーム

個人番号登録から法定帳票の出力まで、従業員、およびその家族のマイナンバーを一括でセキュアに管理する事が可能。



## LaKeel Stress Check

### 企業向けストレスチェックツール

厚生労働省「職業性ストレスチェック簡易調査票」に準拠し、ストレスチェックの回答、結果確認、企業への情報提供同意、面接指導の申出、各種分析帳票すべてをWebシステム上で実現。



## LaKeel Survey

### アンケート収集管理プラットフォーム

一般的なアンケートを作成し収集するだけでなく、収集した結果はグラフで可視化されると共に、アンケート毎に設定された閾値や、繰り返し実施されるアンケート結果の傾向から、異常値を管理者に通知する機能を提供。



## LaKeel Messenger

### 企業向けのSNSツール

大企業でのコミュニケーションをリアルタイムかつ安全に行えるように、お客様の運用方針に沿った設定に変更することが可能。



## LaKeel HR

### 人事戦略実行支援プラットフォーム

人事戦略の実行支援がコンセプトの人事基幹業務システムです。タレントデータやピープルデータなどの幅広いデータ管理、業務の属人化を防止する業務プロセス管理、分析に加え次のアクションの自動化などの特徴的な機能を提供。



## LaKeel WorkFlow

### 電子申請プラットフォーム

全ての企業のあらゆる業務で必要となる「申請と承認」について、電子申請とこれの承認システムを極めて簡単に作成し、速やかに運用を開始することができる機能を提供。



## LaKeel Process Manager

### 業務フロー管理プラットフォーム

LaKeel Process Managerは、単一システム内だけでなく複数のシステムが提供する機能を、業務の流れにあわせて1つの業務フローとして作成し利用する事ができるエンドユーザ・コンピューティング機能を提供します。



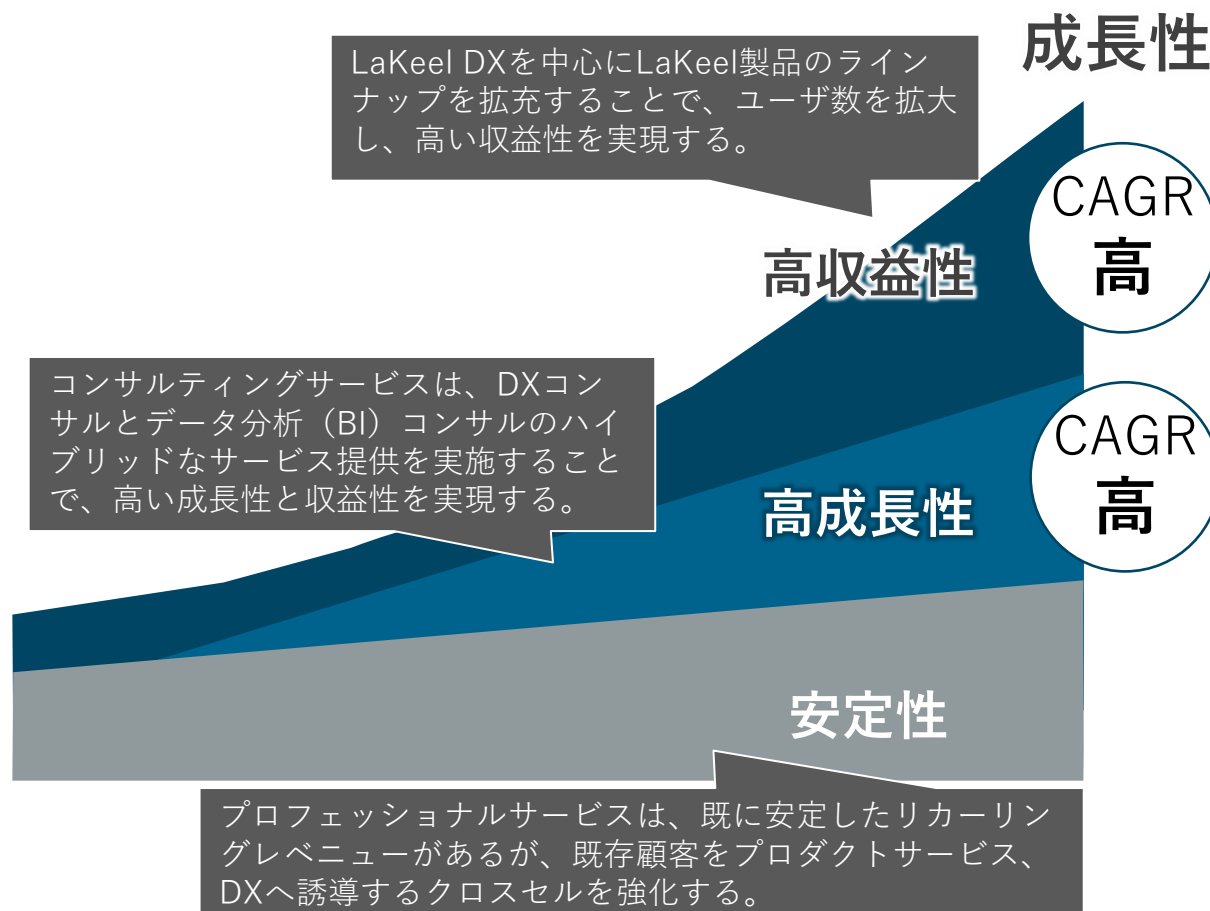
## LaKeel DX

# 成長戦略：サービスポートフォリオ

## 高い収益性が期待できるプロダクトサービスに注力

長期にわたって継続的なアップセルとクロスセルを目指し、高い顧客生涯価値(LTV\*)を促進する

\*LTV：Life Time Value



### ■ プロダクトサービス(LaKeel DX/Apps)

- ・ 高い収益性と継続性を重視した収益モデル

**ライセンス型/サブスクリプション型**

### ■ コンサルティングサービス

- ・ 高度な技術力により高い成長性を重視した収益モデル

**フロー型**

### ■ プロフェッショナルサービス

- ・ 安定性と継続性を重視した収益モデル

**フロー型/リカーリング型**

# 成長戦略：DX市場規模

## DX 国内市場 (2027年予測)

2兆1,074億円

7,912億円

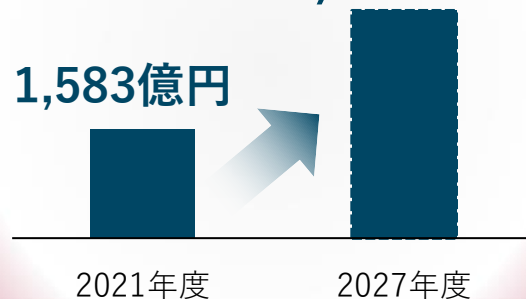


出所) 株式会社富士キメラ総研  
「2020 デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望」  
を元に、CAGR13.0%として当社でグラフ化

## DX当社ターゲット (2027年予測)

3,295億円

1,583億円



出所) DX国内市場の成長に合わせ、  
CAGR13.0%として当社でグラフ化

## DX 世界市場 (2027年予測)

143兆3,190億円\*

\*1兆3,029億ドル、¥110/\$換算

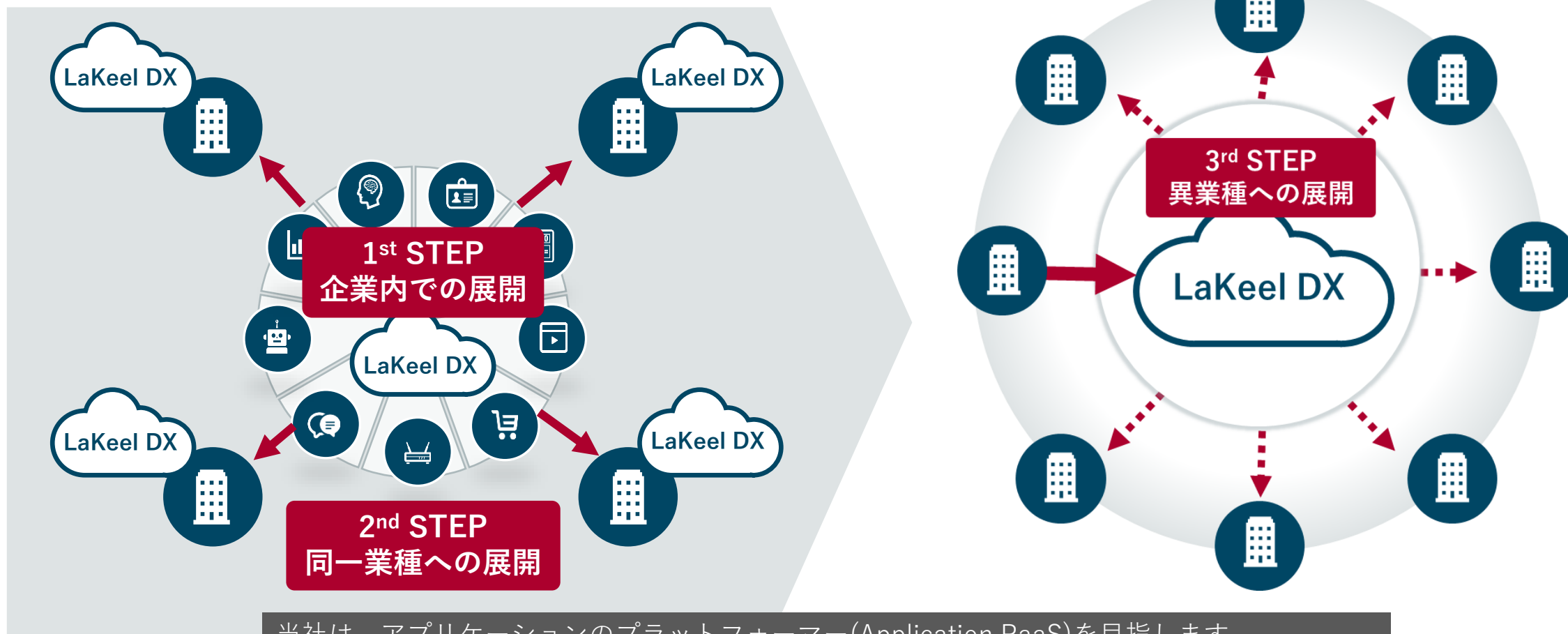
出所) 株式会社グローバルインフォメーション  
「DX (デジタルトランスフォーメーション) の世界市場：  
コンポーネント別・展開方式別・企業規模別・エンドユーザー別  
・地域別の展望、業界分析、将来予測 (2021年~2027年)」

## 既存取引先データ

既存取引先社数：340社	当社2021年実績より
売上：85兆8,194億円	上場企業：開示資料 非上場企業：(株)帝国データバンク、(株)東京商工リサーチより
IT投資予算：1兆556億円 (売上の1.23%)	「企業IT動向調査報告書2021」 JUAS ((社)日本情報システム ユーザー協会) より
DX投資予算：1,583億円 (IT投資の15%)	当社見込み

# 成長戦略：LaKeel DXエコノミー

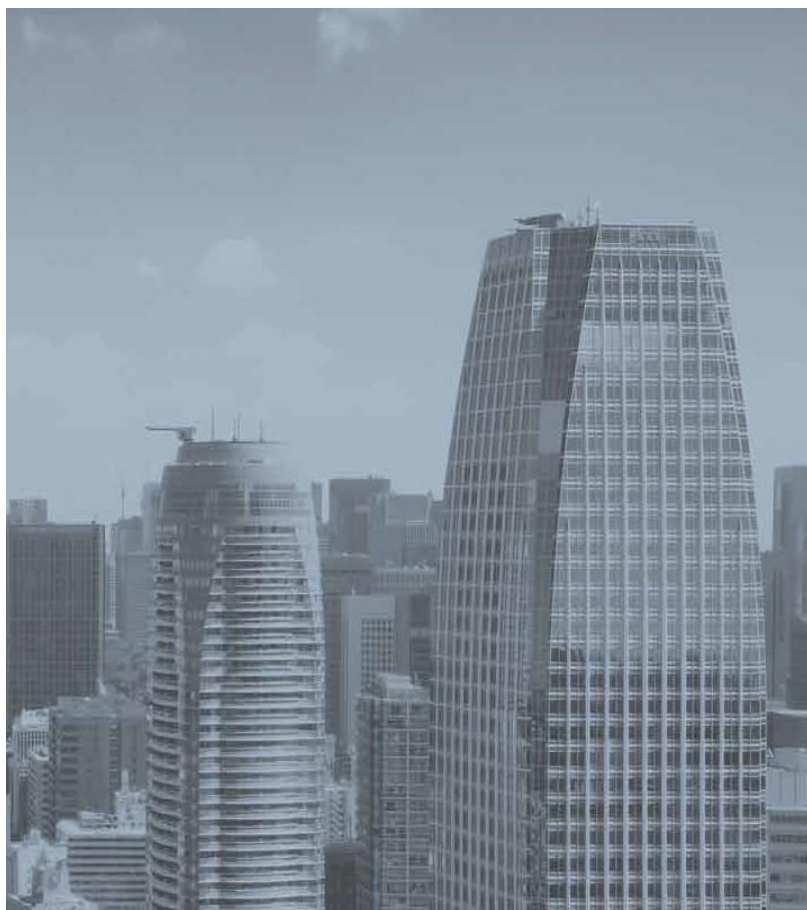
## LaKeel DXエコノミーの構築と拡大



当社は、アプリケーションのプラットフォーマー(Application PaaS)を目指します。LaKeel DXが顧客企業のデジタルビジネスプラットフォームとして広く採用され、積極的にDXソリューションが展開されることで、当社は「LaKeel DXエコノミー」を構築・拡大します。

# 4. Appendix

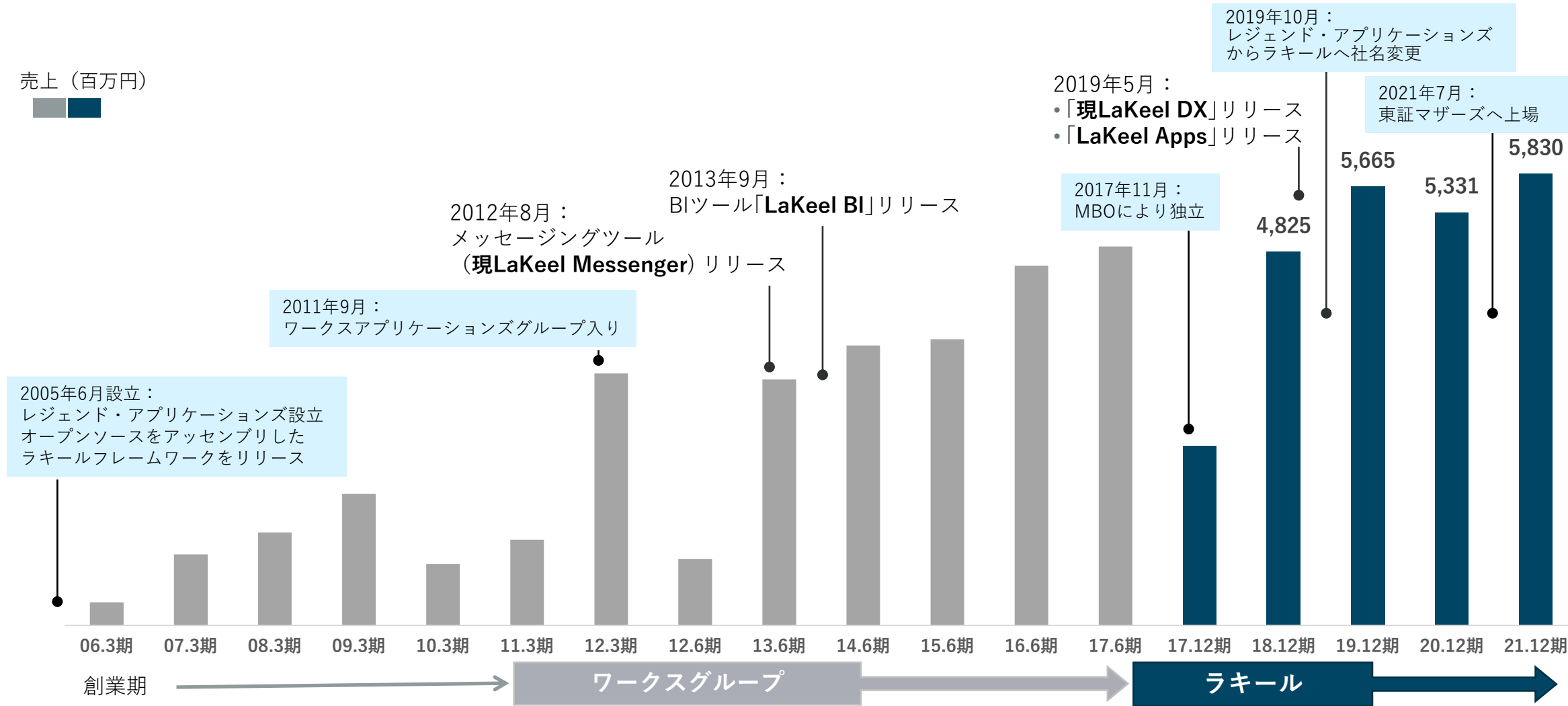
# 会社概要



会社名	株式会社ラキール (LaKeel, Inc.)
会社創立日	2005年6月10日
資本金	1,011,888,855円 (2021年12月31日現在)
本社所在地	東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー33階
代表取締役社長	久保 努
事業内容	企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を支援する プロダクトサービスとプロフェッショナルサービスを提供
社員数	450名 (連結、2021年12月31日現在)
当社グループ	Legend Applications China Holding, Inc. 北京利衆得応用技術有限公司 株式会社ZEST
上場市場	東証グロース市場
業種別分類	情報・通信業
証券コード	4074 (ISIN JP3967020003)

# 沿革

売上（百万円）



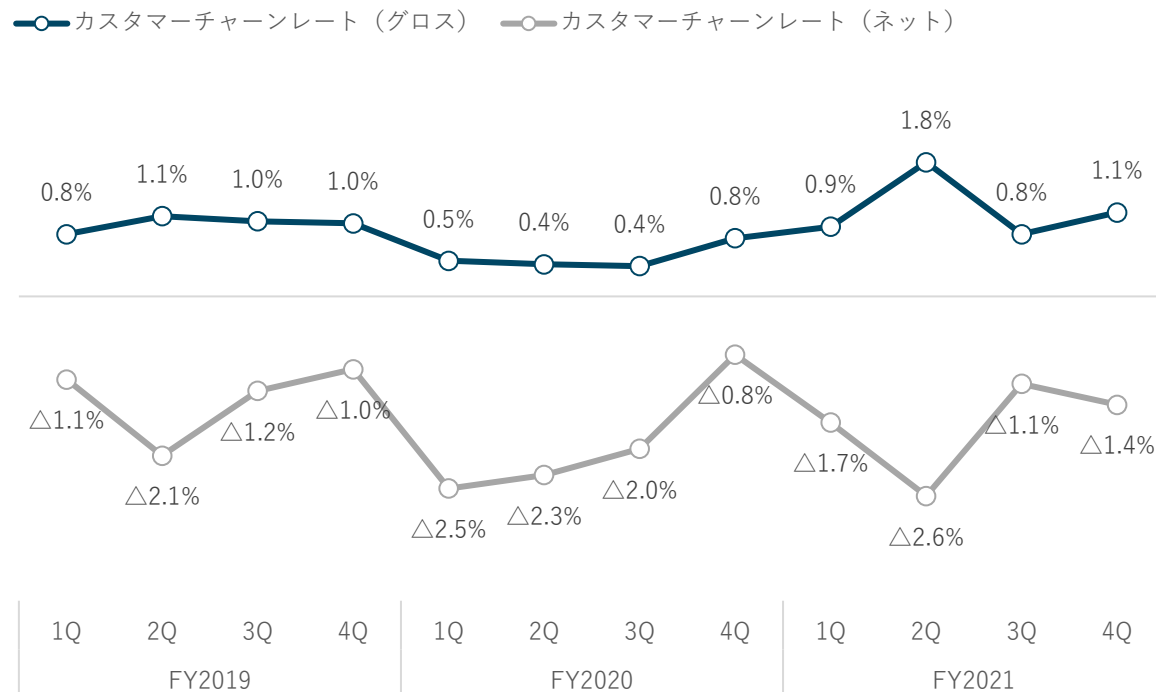
\*1 18.12期より連結、それ以前は単体 \*2 12.6期は決算期変更で3か月 \*3 17.12期は、2017年7月1日から12月31日までの旧(株)レジェンド・アプリケーションズの売上を記載



# プロダクトサービス

## 連続して純増を継続。LaKeel DXの成長に伴いARPUも上昇

### ■ LaKeel製品の解約率（チャーンレート）



本資料記載の解約率は、他社との比較可能性を考慮して、以下の算出方法に変更いたしました。

- 顧客チャーンレート（グロス）  
「月中に解約したLaKeel製品ユーザー数 ÷ 前月末時点でのLaKeel製品ユーザー数」の対象期間の平均
- 顧客チャーンレート（ネット）  
「（月中に解約したLaKeel製品ユーザー数 - 月中に新規契約したLaKeel製品ユーザー数） ÷ 前月末時点でのLaKeel製品ユーザー数」の対象期間の平均

### ■ LaKeel DX/Apps の販売データ（FY2020→FY2021）

	FY2020	FY2021	増減率
<b>LaKeel製品</b>			
サブスク売上(年間)	422.6百万円	628.7百万円	49%
ユーザー数(期末時)	202	246	22%
MRR(4Q時)	40.5百万円	58.5百万円	44%
ARPU(4Q時)	20万0千円	23万7千円	18%
<b>LaKeel DX</b>			
サブスク売上(年間)	43.2百万円	88.3百万円	105%
ユーザー数(期末時)	3	6	100%
MRR(4Q時)	4.9百万円	11.1百万円	125%
ARPU(4Q時)	164万4千円	185万2千円	13%
<b>LaKeel Apps</b>			
サブスク売上(年間)	379.4百万円	540.4百万円	42%
ユーザー数(期末時)	199	240	20%
MRR(4Q時)	35.5百万円	47.4百万円	33%
ARPU(4Q時)	17万8千円	19万7千円	11%

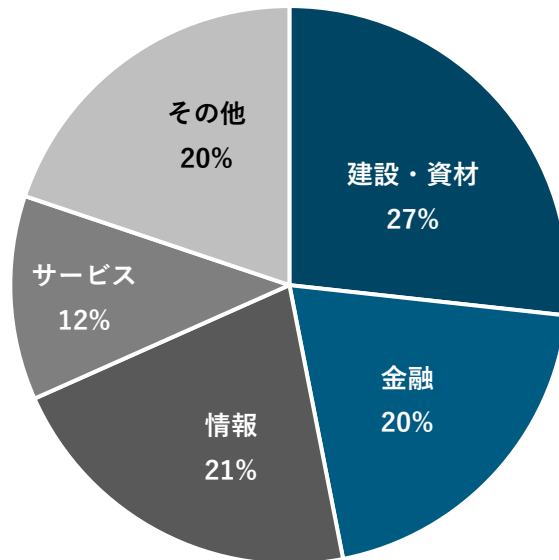
- MRR（月間経常収益）：（四半期のサブスク売上高） ÷ 3
- ARPU（ユーザー平均単価）：MRR ÷（各四半期末のユーザー数）

# プロフェッショナルサービス

## 安定収益を生み出す顧客基盤

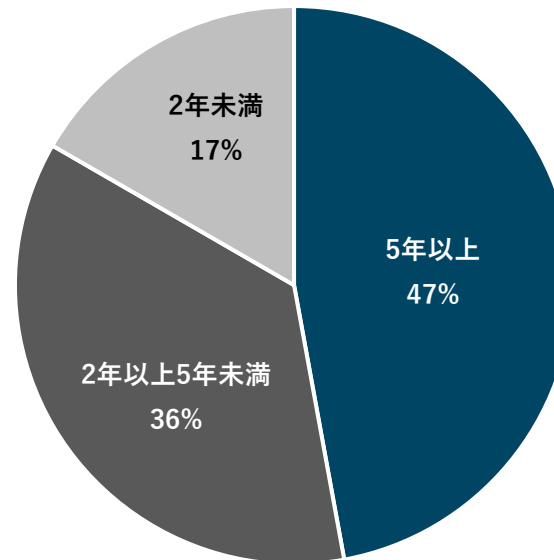
- 大手建設・金融系中心に幅広い産業で200社超の取引実績を有する
- 創業当時から継続取引を行っている顧客を軸にビジネスを継続
- 年間取引額が1億円を超す取引先の売上累計が、全体売上の2/3を占める

— 顧客属性別 —



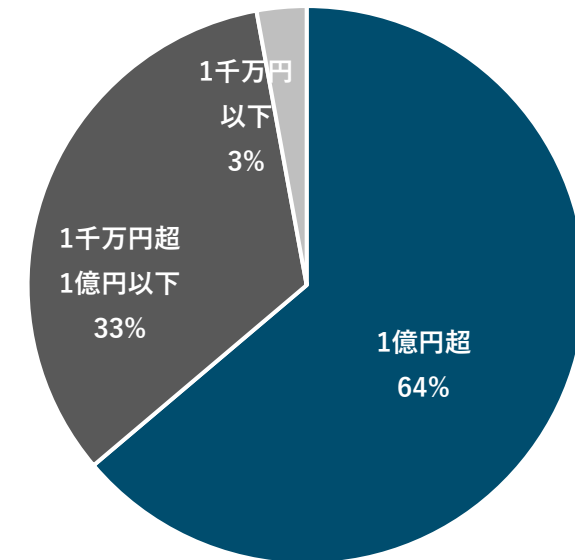
総売上に占める業種別割合  
(2021年12月期実績)

— 取引期間別 —



総売上に占める取引期間別割合  
(2021年12月期実績)

— 取引額別 —

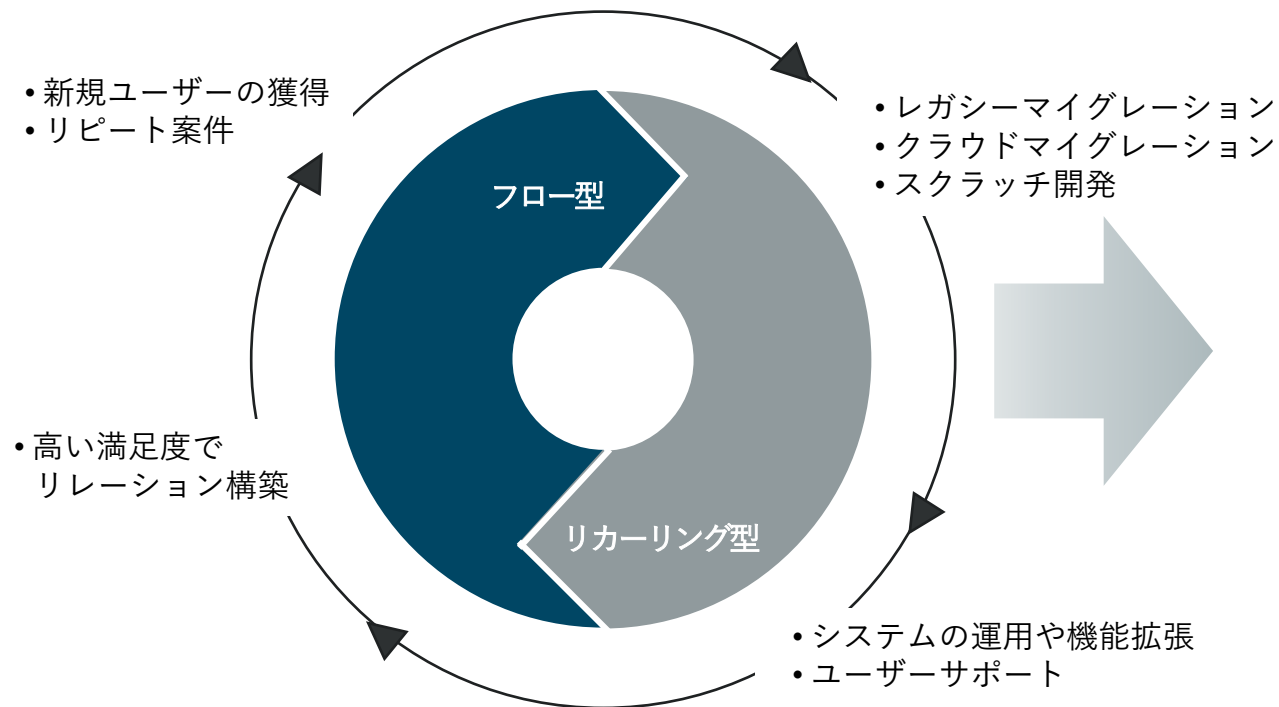


総売上に占める1社当たり年間取引額別割合  
(2021年12月期実績)

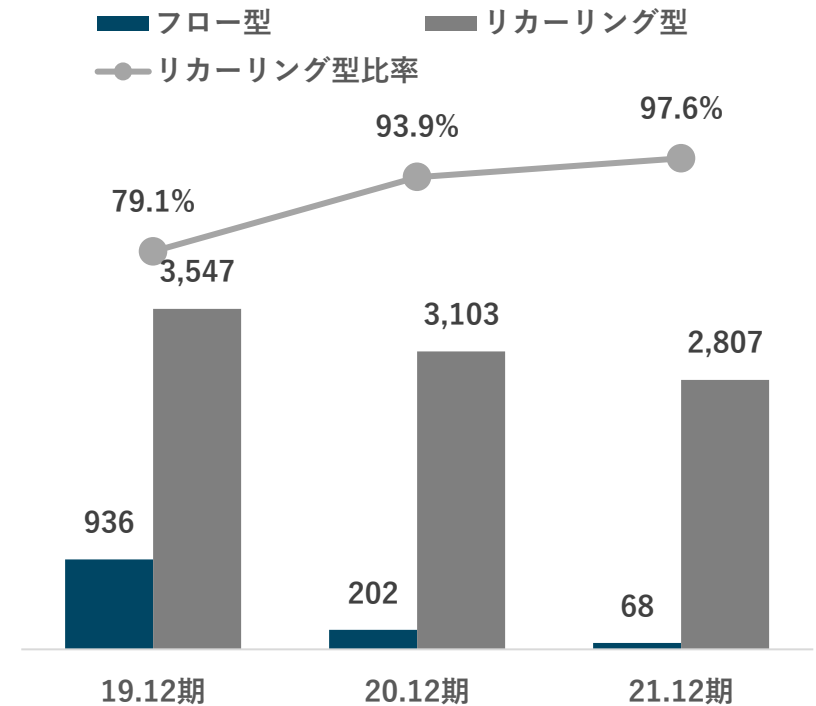
# プロフェッショナルサービス

## 90%を超えるリカーリング売上による安定収益

### — 高付加価値循環型モデル —

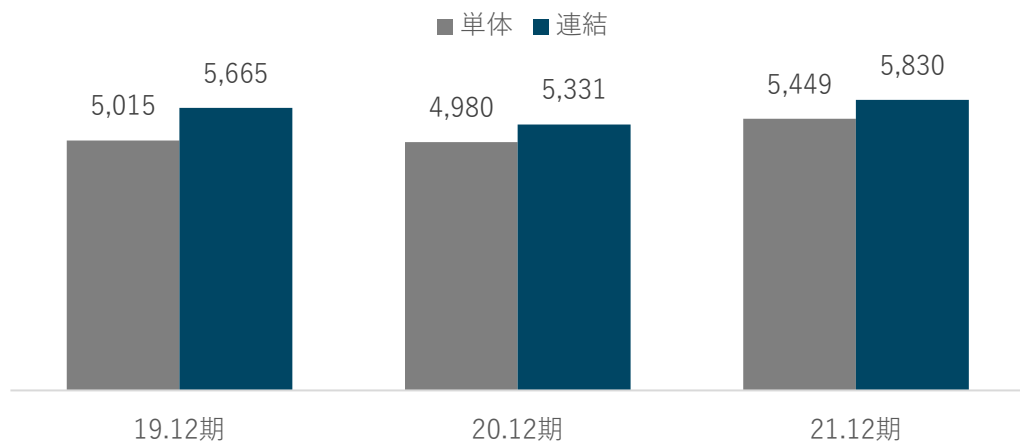


— モデル別売上の推移 — (単位：百万円)

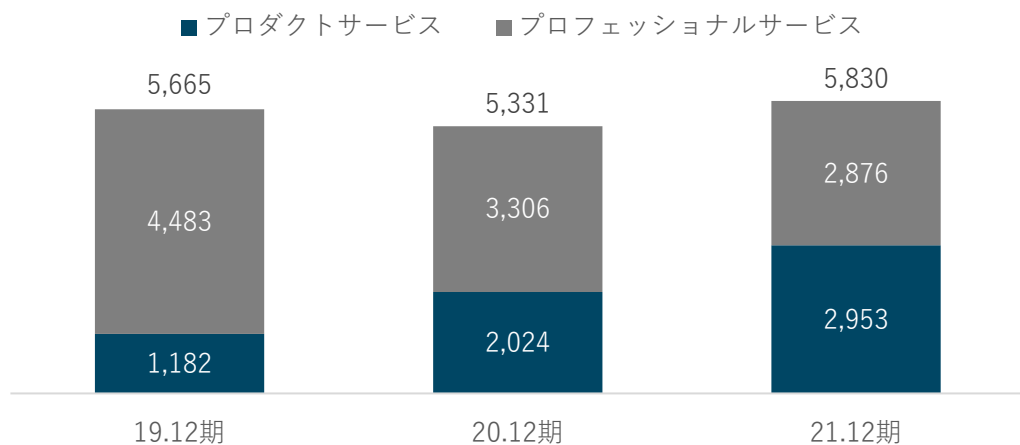


# 財務データ

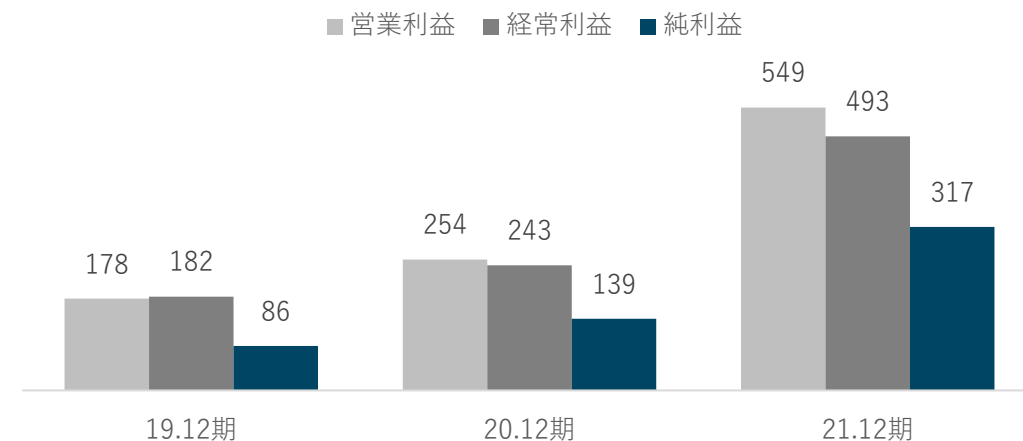
## ■ 売上 (百万円)



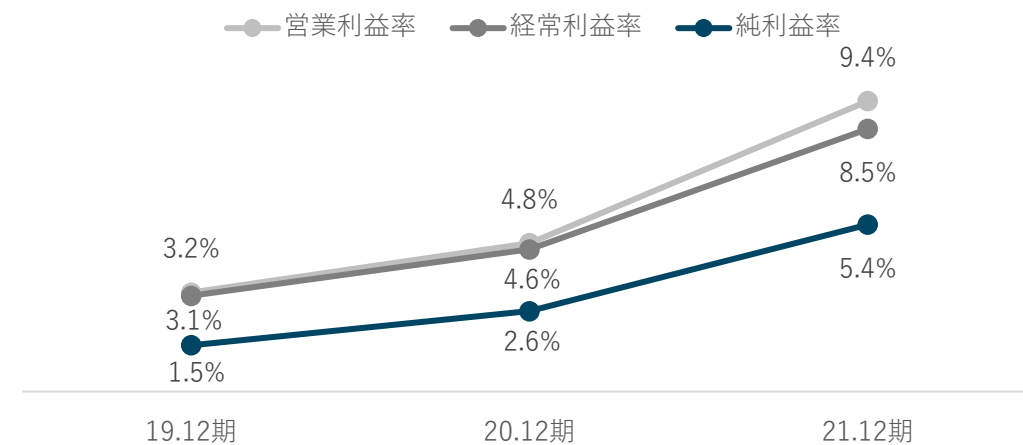
## ■ サービス別売上 (百万円、連結)



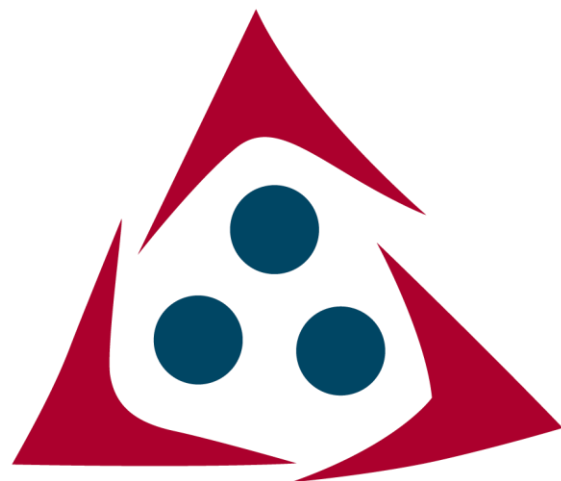
## ■ 利益 (百万円、連結)



## ■ 利益率 (%、連結)



※ 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を記載しております。



# LaKeel

## 将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

## 株式会社ラキール

コーポレートサイト

<https://www.lakeel.com/>

IR情報

<https://www.lakeel.com/ja/ir.html>

お問合せ

[lakeel-ir@lakeel.com](mailto:lakeel-ir@lakeel.com)